

中ノ者ハ之ヲ機雷術機雷特技兵臨時講習員トス
 昭和十六年四月一日前水雷術機雷特技兵又ハ水雷術
 水中測的特技兵臨時講習終了者中同日現ニ海軍特修
 兵ニ非ザルモノハ夫々機雷術機雷特技兵又ハ機雷術
 水中測的特技兵臨時講習ヲ終了シタル者ト看做ス、

参照 昭和十四年官房機雷第六五八九號ハ各種特技兵(假稱)臨時
 講習員ニ人事取扱ニ關スル件ナリ(内令提要卷二、一一九
 頁)

官房機雷第二七八七號

昭和十六年四月一日

内令提
 要登載

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件申改正ノ件訓令

昭和十五年官房機雷第七四四三號別表中左ノ通改正ス
 海軍水雷學校ノ項ノ次ニ「海軍機雷學校」ヲ、海軍工
 機學校ノ項ノ次ニ「海軍工作學校」ヲ加フ
 海軍潜水學校ノ項中「第十三潜水隊、」ノ下ニ「第十
 八潜水隊、」ヲ加フ

(昭和十五年十一月十五日海軍公報(部内限)参照)

官房機雷第二七八八號

本年四月一日防備隊令其ノ他改定又ハ改正施行ノ際現
 ニ左記上欄又ハ上欄ニ屬スル職名ヲ有スル者ハ特ニ發
 令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ各下欄ノ相
 當職名ニ補命セラレタル義ト心得ベシ

昭和十六年四月一日

記

海軍大臣

防備隊	水雷長	防備隊	機雷長
敷設艦	掌水雷長	敷設艦	
掃海艇		掃海艇	
驅潛艇		驅潛艇	
特設掃海母艦		特設掃海母艦	
特設敷設艦		特設敷設艦	
特設急設網艦		特設急設網艦	
特設掃海艇		特設掃海艇	
特設捕獲網艇		特設捕獲網艇	
特設敷設艇		特設敷設艇	

海軍航空技術廠兵器部

海軍航空技術廠支廠兵器部

海軍諸例
則登載

官房第一六八一號

昭和十四年官房第六五四七號中左ノ通改正ス

昭和十六年四月一日

海軍大臣

「召集中ニ非ザル豫備役後備役海軍軍人及海軍豫備員ノ特殊任用進級取扱規程」ヲ「召集中ニ非ザル豫備役海軍軍人及海軍豫備員ノ特殊任用進級取扱規程」ニ改ム

第二條中「後備役」ヲ削ル

第一樣式及第二樣式中「(後)」ヲ削リ第二樣式中

「後備役滿期年月日」ヲ「豫備役滿期年月日」ニ改ム

參照 昭和十四年官房第六五四七號ハ召集中ニ非ザル豫備役後備役海軍軍人及海軍豫備員ノ特殊任用進級取扱規程ナリ(諸例則卷三、二〇四ノ一頁)

官房第一六八二號

昭和十三年官房第六一八一號ハ之ヲ廢止ス

昭和十六年四月一日

海軍大臣

參照 昭和十三年官房第六一八一號ハ現役機關科無章下士官及兵中工作科ニ轉科セシ者ヲ高等科工作術練習生ニ選抜採用ノ件ナリ(諸例則卷一、六九六ノ二頁)

海軍諸例
則除

○通牒

經物第一〇二號

海軍契約規程施行手續中左ノ通改正ス

昭和十六年三月三十一日

海軍省經理局長

第三十五條、第三十七條、第三十八條、第三十九條及第四十條中「軍港」ノ下ニ「又ハ要港」ヲ加ヘ、第三十八條ノ二中「軍港」ノ下ニ「若ハ要港」ヲ加フ

附則

本號ハ昭和十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(會計法規類集下卷三三〇ノ三ノ一頁參照)

○辭令

海龍丸 船長 小川 芳松

同 一等運轉士 岩田 力松

同 一等機關士 中原 猪之吉

(昭和十五年七月二日附)

佐世保海軍軍需部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(海軍省)

地洋丸 機關長 長谷 七五郎
(昭和十四年五月十四日附)
 佐世保海軍軍需部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(同)

秩父丸 船長 堀部 忠孝

同 機關長 佐藤 富男

同 一等運轉士 寺崎 美代吉

同 一等機關士 谷 宗 吉
(以上昭和十四年十月三日附)

榎名丸 船長 里見 哲二郎

同 機關長 中野 秀吉

同 一等運轉士 森安 佐人士

同 一等機關士 熊木 幸作
(以上昭和十四年九月二十五日附)

北開丸 船長 田代 應次
(昭和十四年十一月二十三日附)

八代丸二等運轉士 小山 節二
(昭和十五年四月五日附)

地洋丸 機關長 井本 静一
(昭和十四年五月十四日附)

海龍丸 機關長 山田 由太郎
(昭和十五年五月一日附)

佐世保海軍軍需部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限委任
 官待遇トス(同)

(各通)

秩父丸 船長 堀部 忠孝

同 機關長 佐藤 富男

同 一等運轉士 寺崎 美代吉

同 一等機關士 谷 宗 吉
(以上昭和十五年四月十六日附)

榎名丸 船長 里見 哲二郎

同 機關長 中野 秀吉

同 一等運轉士 森安 佐人士

同 一等機關士 熊木 幸作
(以上昭和十五年四月七日附)

北開丸 船長 田代 應次
(昭和十五年五月二十三日附)

海龍丸 機關長 山田 由太郎
(昭和十五年七月二日附)

佐世保海軍軍需部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(同)

地洋丸 機關長 井本 静一
(昭和十五年四月一日附)

佐世保海軍軍需部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(同)

海龍丸 機關長 庭山 誠四郎
(昭和十四年十二月七日附)

佐世保海軍軍需部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限委任
 官待遇トス(同)

海龍丸 機關長 庭山 誠四郎
(昭和十五年五月一日附)
 佐世保海軍軍需部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(同)

海軍主計中尉 小泉 茂吉
 軍艦宇治艦裝員ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡
 官吏ヲ命ス(海軍省經理局長)

海軍中佐 寺岡 正雄(艦本監)

同 岡田 有作(艦本)

同 榎原 省吾(伊一五潛)

(各通) 海軍大尉 清水 鶴造(同右)

海軍機關中佐 熱田 佐太郎(艦本)

同 岡 寅雄(吳廠)

海軍機關大尉 安部 徳高(伊一五潛)

伊號第十九潜水艦審議(除航空關係)委員ヲ命ス
(海軍艦政本部)

○ 雜 款

○將旗一時移揚
 第三戰隊司令官ハ三月二十三日將旗ヲ一時霧島ニ移揚
 同日比叡ニ復歸セリ

隊 名	開始月日	場 所
第三艦隊司令部	四月一日	海軍大學校 四月十三日以降軍艦 長良(舞鶴)
第一航空艦隊司令部	同	軍艦赤城(横須賀)
第四航空戰隊司令部	同	軍艦龍驤(吳)
(聯合艦隊)		

○ 艦船所在

▲印ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

○ 四月一日午前十時

【横須賀】

春日▲、赤城▲、劍崎▲、口香取▲、▽瑞穂▲、
 ▲蒼龍▲、口長門、陸奥、▽比叡、口高雄、
 愛宕、鳥海、摩耶、▽那珂、
 夕立、村雨、春雨、口響、曉、電、雷、
 口朝雲、山雲、峯雲、夏雲、
 伊一五▲、伊一七▲、伊七〇▲、伊七五▲、
 伊一▲

宗谷

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊三三)▲、(伊三三)▲、
 (伊三七)▲

【長浦】

國後▲、▽多摩▲、
 嵐、沖風▲、口沙風、帆風、口潮、隴、
 漣、曙、萩風、
 伊四▲、伊五▲、伊六▲、伊二〇▲、伊一八▲、
 伊二二▲、
 驅潜一三▲

【石川島】

五月雨
 五十鈴
 (香椎)▲、(筑紫)▲

【浦賀】

(濱風)▲

【大湊】

石垣▲、野風▲、波風▲、沼風▲

【吳】

伊五二▲、
 伊三四▲、哨三五▲、
 大泊▲、
 淺間▲、扶桑▲、八雲▲、大鯨▲、▽龍驤、
 鳳翔、千代田、▽日向、伊勢、▽青葉、
 古鷹、衣笠、▽熊野、鈴谷、最上、三隈、
 夕霧、天霧、朝霧、口白雲、東雲、叢雲、
 綾波、浦波、磯波、敷波、矢風、三日月▲、
 呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊八、
 伊五三▲、伊五五▲、伊五七▲、伊五八▲、
 伊六八▲、伊六九▲、伊七四▲、
 伊一二二▲、
 哨四六▲

【大阪】

朝日、間宮、攝津、早鞆
 (日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、(舞風)▲、
 球磨▲、
 狹霧▲

【神戸】

鬼怒▲、(谷風)▲、(驅潜一五)▲、
 伊一六▲、伊五四▲、伊五六▲、伊一二一▲、
 瑞鶴▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲、
 (伊二五)▲、(伊三一)▲、(伊良湖)▲、
 (驅潜一四)▲

【因ノ島】

初雪▲、白雪▲、吹雪▲、
 驅潜五一、驅潜五二、驅潜五三、
 哨三一、哨三二、哨三三

【舞鶴】

吾妻▲、大井▲、▽利根、筑摩、
 薄雲▲、口秋風、夕風、太刀風、羽風

海軍公報(部内限)第三千七百六十號

昭和十六年四月一日

四〇九

哨三六▲ 哨三七▲

鳴戸

(野分)▲(夕雲)▲

【佐世保】

金剛▲ 榛名▲ 北上▲ 飛龍▲ 千歳、

夕月▲ 朝顔▲ 芙蓉▲ 峯風▲ 吳竹、

早苗、 菊月、 卯月、 若葉、 初春、

初霜、 子日、 有明、 白露、 時雨、 夕暮、

海風、 山風、 江風、 涼風

呂三〇▲ 呂三一▲ 呂三二▲ 伊五九▲

伊六〇▲ 伊六一▲ 伊六二▲ 伊六四▲

伊六五▲ 伊六六▲ 伊七三▲

掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

哨三八▲ 哨三九▲

野島▲ 敷島▲ 佐多▲

(八丈)▲(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲

【作業地】

出雲、 安宅、 橋立、 二見、 伏見、 比良、

熱海、 鳥羽、 勢多、 堅田、 保津、 陽田、

足柄、 長良、 古守、 嵯峨、 名取、 磐手、

神通、 初鷹、 蒼鷹、 白鷹、 鹿島、 天龍、

龍田、 沖島、 常磐、 夕張、 迅鯨、

長鯨、 神威、 能登呂、 嚴島、 八重山、

由良、 那智、 羽黒、 山城、 木曾、 勝力、

駒橋、 瑞鳳

栗、 梅、 蓮、 刈萱、 春風、 朝風、 旗風、

松風、 文月、 皐月、 水無月、 長月、

早潮、 夏潮、 親潮、 黒潮、 雪風、 初風、

天津風、 時津風、 霞、 霞、 陽炎、

【航海中】

襟裳 (三月二十七日吳發―桑港)

妙高 (三月三十日吳發―伊豫灘)

櫻野 (三月三十一日横須賀發―神戸)

加古 (三月三十一日吳發―相生)

尻矢 (三月三十一日横須賀發―徳山)

不知火、 大潮、 荒潮、 滿潮、 朝潮、

追風、 疾風、 夕風、 朝風、 陸月、 如月、

望月、 彌生、 磯風、 浦風、 若竹

呂三四、 呂三三、 呂六二、 呂六〇、

呂六一、 呂六三、 呂六四、 呂六八、

呂六五、 呂六六、 呂六七、 伊七、

伊一、 伊二、 伊三、 伊九、 伊七一、

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七三、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

伊七二、 伊一二四、 伊一三三

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千七百六十一號

昭和十六年四月二日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第二六八六號

左記ノ者海軍軍醫科、藥劑科、主計科、造船科、造機科及造兵科士官現役期間特例第五條竝ニ海軍武官服役令第三條第一項第一號ニ依リ當分ノ間服役期間ヲ延長ス

昭和十六年三月三十一日

海軍大臣

記

海軍主計中尉 泉 光 秋
同 山路 國 徳

官房機密第二七八一號

昭和十三年七月、昭和十四年五月及同年十月採用ノ二年現役主計科士官ニシテ海軍武官服役令第八條第一項ノ規定ニ依ル現役ニ服スルコトヲ志願スル者ハ昭和二年達第一五三號ノ様式ニ準ジ願書ヲ本年四月二十日迄ニ順序ヲ經テ提出スベシ

昭和十六年四月一日

海軍大臣

官房第一六五五號

雜役船ノ船種ヲ左ノ通變更ス

昭和十六年四月一日

海軍大臣

公稱番號	舊 船 種	新 船 種	所 屬	定 數 別	記 事
第三二一三號	傳 馬 船 (十米)	內 火 傳 馬 船 (十米)	橫須賀海軍軍需部	定 數	
第二一七四號	運 貨 船 (アルマ型)	橋 船	吳海軍港務部	臨時附屬	

海軍公報(部内限) 第三千七百六十一號 昭和十六年四月二日

四二一

1057

○通牒

官房第一六五四號

昭和十六年四月一日

海軍次官

海軍諸例
登載

關係各廳長殿

第一士官次室ヲ使用スル士官ニ關スル件
申進

達第九十號ヲ以テ艦船ノ公室及居住室使用區分ノ件申
一部改正セラレ候處右ハ第一士官次室ニ於テ同室士官
ノ直接指導ニ任ズベキ士官ガ從來ニ比シ著シク若年ト
ナレル配員ノ現狀ニ鑑ミ同室士官ノ指導ニ遺憾ナカラ
シムル爲艦船長ニ於テ士官室ヲ使用スベキ大尉又ハ中
尉ノ中一部ノ者ヲシテ第一士官次室ヲ使用セシムルコ
トヲ得ルコトニ改正セラレタル次第ニ付右含ミノ上可
然取計相成度

航本機密第二九一七號
昭和十六年四月一日
海軍航空本部長
佐世保、廣海軍工廠長
海軍航空技術廠長 殿
航空兵器修理材料供給ノ件通牒
昭和十五年官房第五八五〇號ニ依リ昭和十六年度(會
計年度)各海軍航空隊、航空母艦及航空機搭載艦(臨
時搭載スル艦船ヲ除ク)ニ供給スヘキ航空兵器修理材
料ハ左記金額ノ範圍内ニテ處理スベシ
但シ〇印ヲ附セルモノハ臨時軍事費、臨時軍事費造
船造兵及修理費、造兵費(空補)其ノ他ハ軍事費造
船造兵及修理費、造兵費修理(空補)支辨トス
記

供給先

年額

- 〇霞ヶ浦海軍航空隊 一五、〇〇〇圓
- 〇筑波海軍航空隊 一五、〇〇〇圓
- 〇鹿島海軍航空隊 一五、〇〇〇圓

○谷田部海軍航空隊	一五、〇〇〇圓	○大分海軍航空隊	一五、〇〇〇圓
○百里原海軍航空隊	一五、〇〇〇圓	○佐世保海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓
○土浦海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓	○大村海軍航空隊	一五、〇〇〇圓
○横須賀海軍航空隊	二〇、〇〇〇圓	○鹿屋海軍航空隊	一五、〇〇〇圓
同 右(教育用)	二〇、〇〇〇圓	○博多海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓
○横濱海軍航空隊	一五、〇〇〇圓	○高雄海軍航空隊	一五、〇〇〇圓
同 右(殘留隊)	一、〇〇〇圓	○東港海軍航空隊	一五、〇〇〇圓
○木更津海軍航空隊	一五、〇〇〇圓	○鎮海海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓
○館山海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓	○元山海軍航空隊	一五、〇〇〇圓
○父島海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓	○第三遣支艦隊司令部	五、〇〇〇圓
○大湊海軍航空隊	五、〇〇〇圓	○第十二航空隊	三〇、〇〇〇圓
○千歲海軍航空隊	一五、〇〇〇圓	○第十四航空隊	二〇、〇〇〇圓
○美幌海軍航空隊	一五、〇〇〇圓	○舞鶴海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓
○鈴鹿海軍航空隊	一五、〇〇〇圓	○軍艦 蒼龍	五、〇〇〇圓
○第七航空隊	一〇、〇〇〇圓	同 鳳翔	二、五〇〇圓
○第八航空隊	一〇、〇〇〇圓	同 飛龍	五、〇〇〇圓
○第十九航空隊	一〇、〇〇〇圓	同 龍驤	三、〇〇〇圓
○吳海軍航空隊	八、〇〇〇圓	同 加賀	五、〇〇〇圓
○宇佐海軍航空隊	一五、〇〇〇圓	○特設水上機母艦神川丸	二、〇〇〇圓
○佐伯海軍航空隊	八、〇〇〇圓	軍艦 長門	四〇〇圓
○岩國海軍航空隊	一五、〇〇〇圓	同 陸奥	四〇〇圓

海軍公報(部内限)第三千七百六十一號

昭和十六年四月二日

四一三

○ 辭 令

(各通)

遞信技師 松岡 圭介
 同 村井 愛太郎
 同 船津 重太郎
 同 翠川 信遠
 同 岡本 恒吉
 横須賀海軍工廠ニ於ケル業務ヲ囑託ス(十一月二十五日海軍省)

第二遣支艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任待遇トス(十一月二十五日同)

川 島 實
 淺羽 三郎
 中村 清照
 小倉 克己
 豊原 太郎
 笠松 時雄
 深尾 實郎
 林 巖
 大熊 惇
 川野 徳
 (通各)
 千六百貳拾圓
 千四百七拾圓
 千四百七拾圓
 千四百七拾圓
 千四百八拾圓
 千參百貳拾圓
 千參百貳拾圓
 千貳百六拾圓
 千貳百貳拾圓
 千貳百圓

千五百拾貳圓 木村 道義
 千八拾圓 千秋 晴三
 千八拾圓 鈴木 進
 徵用中年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(十一月同)

徵用中年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(十一月同)

海軍省事務囑託ヲ解ク 通信事務官 小見山 松弥
 同 藤井 重壽

海軍省事務ヲ囑託ス(十一月同)

臺灣總督府林業試驗所技手 山田 金治
 第二遣支艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(十一月同)

海軍省事務囑託ヲ解ク(十一月同) 海軍中將 有地 十五郎

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(十一月同) 鴨井 仁喜太

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(十一月同) 岡本 大八

海軍公報(部内限) 第三千七百六十一號

昭和十六年四月二日

四一五

支那方面艦隊事務囑託ヲ解ク(九三〇同)

古谷 二郎

(各通)

海軍少將 柴山 司馬
海軍機關中佐 飯森 正芳

軍令部ニ於ケル調査事務ヲ囑託ス(九三〇同)

齋藤 鐵四郎

大本營海軍部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額七拾圓ヲ給シ部内限判任官待遇トス

(九三〇同)

商工技師 丸尾 覺一

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金五拾圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク(九三〇同)

海軍技術會議議員海軍中將 杉山 六藏

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス

海軍技術會議議員海軍少將 小畑 愛喜

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス

和住 篤太郎

(各通)

海軍技術會議議員海軍大佐 兄部 勇次
海軍技術會議議員海軍中佐 法元 康

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス

海軍技術會議議員海軍機關中佐

坂上 富平

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス

海軍技術會議議員海軍造船兵大佐

松山 寛慈

(各通)

陸軍中佐 佐々 哲爾
陸軍技師 淨法寺 朝美

海軍省建築局ニ於ケル研究業務ヲ囑託ス

根本 儀一

聯合艦隊齒科治療業務囑託ヲ解ク

(各通)

正八位 緒方 眞也
矢島 安造

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

海軍大佐 堀江 亥之吉

海軍省事務ヲ囑託ス(以上九三〇同)

(各通)

海軍中佐 神川 武夫
海軍中尉 射延 行雄

第二課勤務ヲ命ス(九三〇海軍省人事局)

○ 艦船所在 印ハハカノ
指定ヲ要セズ

○ 四月二日午前十時

【横須賀】 春日▲、赤城▲、劍埼▲、香取▲、瑞穂▲、蒼龍▲、長門▲、陸奥▲、比叡▲、高雄▲、愛宕▲、鳥海▲、摩耶▲、那珂▲、夕立▲、村雨▲、春雨▲、響▲、曉▲、朝雲▲、山雲▲、夏雲▲、伊一五▲、伊一七▲、伊七五▲、伊一▲、宗谷▲、翔鶴▲、津輕▲、伊二三▲、伊三三▲、伊三七▲、國後▲、多摩▲、嵐▲、沖風▲、汐風▲、帆風▲、潮▲、龍▲、漣▲、曙▲、萩風▲、伊四▲、伊五▲、伊六▲、伊二〇▲、伊一八▲、伊二二▲、驅潜二三▲、哨二▲

【石川島】 五月雨

【横濱】 五十鈴▲、電▲、峯雲▲、香椎▲、筑紫▲

【浦賀】 雷▲、濱風▲

【三宅島】 澤風

【大湊】 石垣▲

【吳】 神風▲、野風▲、波風▲、沼風▲、伊五二▲、哨三四▲、哨三五▲、淺間▲、扶桑▲、八雲▲、大鯨▲、龍驤▲、鳳翔▲、千代田▲、日向▲、伊勢▲、青葉▲、古鷹▲、衣笠▲、熊野▲、鈴谷▲、最上▲、三隈▲、夕霧▲、天霧▲、朝霧▲、白雲▲、東雲▲、叢雲▲、綾波▲、浦波▲、磯波▲、敷波▲、矢風▲、呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊八▲、伊五三▲、伊五五▲、伊五七▲、伊五八▲、伊六八▲、伊六九▲、伊七四▲、伊一三二▲、哨四六▲、朝日▲、間宮▲、攝津▲、早鞆▲、日進▲、伊二七▲、伊三五▲、舞風▲、球磨▲、狹霧▲

【大阪】 (宇治)▲、(谷風)▲、(驅潜一五)▲、鬼怒▲

【神戸】 伊一六▲、伊五四▲、伊五六▲、伊一二一▲、瑞鶴▲、伊一〇▲、伊一九▲、伊二一▲、伊二五▲、伊三一▲、伊良湖▲、(驅潜一四)▲

【玉】 初雪▲、白雪▲、吹雪▲

【因ノ島】 驅潜五一▲、驅潜五二▲、驅潜五三▲

【佐伯】 哨三一▲、哨三二▲、哨三三▲

【舞鶴】 吾妻▲、大井▲、利根▲、筑摩▲

海軍公報(部内限) 第三千七百六十一號 昭和十六年四月二日

薄雲、口秋風、夕風、太刀風、羽風
 哨三六、哨三七

【佐世保】

(野分) (夕雲)
 金剛、榛名、北上、飛龍、千歳、
 加賀、川内、阿武隈、霧島

夕月、口朝顔、芙蓉、峯風、口吳竹、
 早苗、口菊月、卯月、口若葉、初春、
 初霜、子日、口有明、白露、時雨、夕暮、
 口海風、山風、江風、涼風、三日月
 呂三〇、呂三一、呂三二、口伊五九、
 伊六〇、口伊六一、伊六二、伊六四、
 伊六五、伊六六、伊七三
 掃一三、掃一四、掃一五、掃一六
 哨三八、哨三九

【作業地】

(八丈) (伊二四) (伊二九) (伊三九)
 野島、敷島、佐多
 出雲、口安宅、橋立、二見、伏見、比良、
 熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、
 口足柄、長良、古守、嵯峨、口名取、口磐手、
 口神通、初鷹、蒼鷹、白鷹、口鹿島、天龍、
 龍田、口沖島、常磐、口夕張、口迅鯨、
 長鯨、口神威、能登呂、口嚴島、八重山、
 由良、口那智、羽黒、山城、木曾、勝力、
 駒橋、瑞鳳
 栗、梅、蓮、刈萱、口春風、朝風、旗風、
 松風、口文月、阜月、水無月、長月、
 口早潮、夏潮、親潮、黒潮、口雪風、初風、

【航海中】

襟裳 (三月二十七日吳發—桑港)
 妙高 (三月三十日吳發—伊豫灘)
 樫野 (三月三十一日橫須賀發—神戶)
 加古 (三月三十一日吳發—相生)
 尻矢 (三月三十一日橫須賀發—徳山)
 伊七〇 (一日横須賀發—吳)

天津風、時津風、
 不知火、口大潮、
 口追風、疾風、夕風、朝風、
 望月、彌生、口磯風、浦風、
 呂三四、呂三三、口呂六二、
 呂六一、呂六三、呂六四、
 呂六五、呂六六、呂六七、
 伊一、伊二、伊三、伊九、
 伊七二、口伊一二四、伊一二三
 口鶴、口隼、口雁、口鷲、
 口真鶴、口初雁、口友鶴、
 掃一七、掃一八、口掃六、掃一、掃二、
 掃三、掃四、掃五、口掃七、掃八、掃九、
 掃一〇、掃一一、掃一二
 口驅潜一、驅潜二、驅潜三、
 驅潜五、驅潜六、口驅潜七、
 驅潜九、口驅潜一〇、驅潜一一、
 石廊、明石、室戸、知床、鶴見、隠戸

薄雲、秋風、夕風、太刀風、羽風、哨三六、哨三七

【佐世保】

(野分) (夕雲) 金剛、榛名、北上、飛龍、千歳、加賀、川内、阿武隈、霧島、夕月、朝顔、芙蓉、峯風、吳竹、早苗、菊月、卯月、若葉、初春、初霜、子日、有明、白露、時雨、夕暮、海風、山風、江風、涼風、三日月、呂三〇、呂三一、呂三二、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊六五、伊六六、伊七三、掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、哨三八、哨三九

【作業地】

(八丈) (伊二四) (伊二九) (伊三九) 出雲、安宅、橋立、二見、伏見、比良、熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、足柄、長良、古守、嵯峨、名取、磐手、神通、初鷹、蒼鷹、白鷹、鹿島、天龍、龍田、沖島、常磐、夕張、迅鯨、長鯨、神威、能登呂、殿島、八重山、由良、那智、羽黒、山城、木曾、勝力、駒橋、瑞鳳、栗、梅、蓮、刈萱、春風、朝風、旗風、松風、文月、皐月、水無月、長月、早潮、夏潮、親潮、黒潮、雪風、初風

【航海中】

襟裳 (三月二十七日吳發 | 桑港) 妙高 (三月三十日吳發 | 伊豫灘) 櫻野 (三月三十一日橫須賀發 | 神戸) 加古 (三月三十一日吳發 | 相生) 尻矢 (三月三十一日橫須賀發 | 徳山) 伊七〇 (一日横須賀發 | 吳)

天津風、時津風、辰、霞、陽炎、不知火、大潮、荒潮、滿潮、朝潮、追風、疾風、夕風、朝風、隨月、如月、望月、彌生、磯風、浦風、若竹、呂三四、呂三三、呂六二、呂六〇、呂六一、呂六三、呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、呂六七、伊七、伊一、伊二、伊三、伊九、伊七一、伊七二、伊一二四、伊一二三、鶺鴒、初雁、友鶴、千鳥、掃一七、掃一八、掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛七、驅潛八、驅潛九、驅潛一〇、驅潛一一、驅潛一二、石廊、明石、室戸、知床、鶴見、隠戸

1065

1064

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

昭和十六年四月二日(水)
海軍大臣官房

○辭令

海軍省事務囑託	千四百四拾圓	立花 親民
同	同	
千貳百八拾四圓	岩崎 猛	
海軍文庫ニ於ケル事務囑託		
千貳百六拾圓	小林 淑人	
海軍大臣官房ニ於ケル事務囑託		
千四百四拾圓	楠田 德太郎	
海軍省事務囑託		
貳千拾圓	天川 勇	
海軍軍事普及事務囑託		
千參百貳拾圓	大宅 由歌	
海軍武功調査事務囑託		
千四百四圓	赤穴 敏一	
同		
千四百四拾圓	西本 鈴次郎	

海軍省教育局ニ於ケル事務囑託	千貳百圓	柳沼 七郎
海軍省軍需局事務囑託	千貳百六拾壹圓	梶原 好平
軍令部ニ於ケル事務囑託	千七百七拾圓	中島 權吉
同	同	
千七百七拾圓	市來崎 慶一	
同		
千七百七拾圓	中尾 金房	
同		
千五百貳拾四圓	湯野川 忠一	
同		
千五百貳拾四圓	佐藤 康逸	
同		
千五百貳拾四圓	糸川 季忠	
同		
千四百四圓	高橋 真十郎	

海軍公報(部内限)號外

千五百貳拾四圓	同	重松 良一
千貳百六拾圓	同	小林 文炳
千五百貳拾四圓	同	竹内 輝次
千貳百六拾圓	同	小林 鈞治
千百參拾圓	同	小林 愛治
千六百五拾圓	海軍大學校ニ於ケル事務囑託	丸田 頼三
千五百貳拾四圓	同	尾崎 主税
千六百六拾圓	海軍軍醫學校ニ於ケル齒科學教授囑託	松本 青二
千三百圓	同	三ツ本彌三郎
千百四拾圓	横須賀海軍工廠ニ於ケル業務囑託	清水 太七郎

千貳拾圓	同	森 貞治
千貳拾圓	同	細田 勘吾
千貳拾圓	同	小池 錠太郎
九百六拾圓	同	室山 頼正
九百六拾圓	同	齋藤 廣作
千六百五拾圓	同	鶴見 憲三
千參百貳拾圓	同	愛澤 武
千百參拾圓	横須賀海軍工廠工員養成所教務囑託	小野寺徳太郎
千七拾圓	同	下村 泰
千六百五拾圓	横須賀海軍工廠ニ於ケル業務囑託	吉成 浩

海軍公報 (部内限) 號外

三

(通各)	
千八百圓	荒木隆吉
千五百貳拾四圓	山村實
貳千四百貳拾圓	野口淑夫
横須賀海軍建築部業務囑託	
千五百四拾圓	雨谷政雄
海軍火藥本廠ニ於ケル海軍共濟組合事務囑託	
貳千參百六拾圓	山本耐三
海軍火藥本廠ニ於ケル業務囑託	
千百參拾圓	吉川英夫
豊川海軍工廠ニ於ケル海軍共濟組合事務囑託	
千百參拾圓	横尾孝義
海軍航空技術廠工員養成所教務囑託	
千參百圓	田村勘次郎
同	
千參百圓	白石大
同	
千貳拾圓	大三輪龍卿
横須賀海軍需部事務囑託	
九百圓	菅原龟松
横須賀海軍人事部ニ於ケル業務囑託	
千八拾圓	山田直貞
仙臺地方海軍人事部ニ於ケル軍事普及事務囑託	
千四百拾圓	丹治四郎
横須賀海軍病院齒科治療業務囑託	
千八拾圓	尾本愛道
横須賀海軍航空隊齒科治療業務囑託	
千貳百圓	佐藤柰榮
吳海軍工廠ニ於ケル業務囑託	
千八拾圓	松本伊三郎
同	
千貳拾圓	石丸源一
吳海軍工廠工員養成所教務囑託	
千八百貳拾圓	本田知雄

海軍公報 (部内限) 號外

五

1070

吳海軍工廠ニ於ケル海軍共濟組合事務囑託	五千五百圓	佐藤 毅
同	四千七百五拾圓	笠 潤一郎
同	貳千六百圓	山田 辰郎
同	貳千貳百參拾圓	坪 島 隆
同	千貳百圓	藤 田 薫
廣海軍工廠工員養成所教務囑託	千五百貳拾四圓	堀江 吉正
廣海軍工廠ニ於ケル事務囑託	千四百拾圓	田 戶 昌造
廣海軍工廠ニ於ケル業務囑託	九百圓	峯 賢次郎
廣海軍工廠工員養成所教務囑託	千參百圓	岡 田 昆
廣海軍工廠ニ於ケル海軍共濟組合事務囑託	四千七百五拾圓	三 谷 景夫
參千圓	同	吉 田 和男
同	千八百貳拾圓	辻 與四郎
同	千參百圓	塚 本 二郎
同	九百圓	山 本 唯二
同	九百圓	岩 田 勇
海軍燃料廠醫務業務囑託	參千貳百五拾圓	佐々木 次郎
同	貳千貳百參拾圓	安 戶 重直
海軍燃料廠ニ於ケル海軍共濟組合事務囑託	五千百拾圓	藤 井 佐一
同	參千六百圓	武 富 進
同	貳千貳百參拾圓	氏 家 英輔

千貳百六拾圓	同	城島 義彦
千貳百圓	同	原 正幸
千貳拾圓	吳海軍軍需部ニ於ケル事務囑託	竹内 謙市
貳千七百七拾圓	吳海軍建築部業務囑託	前原 重晴
同		
貳千五百四拾圓	關口 秀敬	
千四百七拾圓	吳海兵團齒科治療業務囑託	上綱 安光
千四百七拾圓	吳海軍病院齒科治療業務囑託	篠崎 寅雄
千五百貳拾四圓	佐世保海軍工廠工具養成所教務囑託	澤田 實
同		
千參百貳拾圓	三戸 宣光	
佐世保海軍工廠ニ於ケル海軍共濟組 合事務囑託		
五千五百圓	祖谷 直行	
四千圓	同	原田 一男
參千五百圓	同	打越 利行
貳千百拾圓	同	本村 加壽郎
同		
千貳百圓	同	川本 忠滿
同		
千貳百圓	同	柴田 光治
同		
貳千百六拾圓	同	菊池 理一郎
同		
千八百八拾八圓	同	岩永 安吉
同		
千七百六拾四圓	同	今 千代吉
佐世保海軍軍需部ニ於ケル業務囑託		
八百四拾圓	同	矢川 松一
佐世保海軍港務部業務囑託		
千貳拾圓	同	中村 仁一

海軍公報 (部内限) 號外

七

1072

千貳拾圓	佐世保海軍經理部事務囑託	田中 芳藏
千八百貳拾圓	佐世保海軍工廠ニ於ケル海軍共濟組合事務囑託	法師山 義男
貳千九百拾五圓	佐世保海軍建築部業務囑託	石井 多三
同		
貳千四百七拾圓		佐藤 次郎
同		
貳千五百五拾圓		小松 七郎
同		
貳千九百參拾圓		安田 忠雄
同		
貳千五百拾五圓	鹿兒島地方海軍人事部ニ於ケル軍事普及事務囑託	待山 正利
九百圓		古市 涉
同	佐世保海軍病院齒科治療業務囑託	
貳千六百圓		松本 隆
千參百圓	同	松川 星吾
同		
九百圓	金澤地方海軍人事部ニ於ケル事務囑託	川谷 武房
同		
千四百拾圓	舞鶴海軍建築部業務囑託	釣谷 次三郎
同		
貳千五百拾圓	舞鶴海軍建築部ニ於ケル事務囑託	森田 利吉
同		
千貳百八拾四圓	舞鶴海軍工廠ニ於ケル業務囑託	土田 數雄
同		
千四百拾圓	舞鶴海軍工廠ニ於ケル海軍共濟組合事務囑託	高橋 留之助
同		
四千圓		吉田 豊
同		
參千七百五拾圓		増谷 仙
同		
貳千貳百參拾圓		島野 義周

同
貳千貳百參拾圓 辻村 昇
大湊要港部ニ於ケル業務囑託
千八拾圓 佐藤 喜三郎
大湊要港部ニ於ケル海軍共濟組合事務囑託
千四百七拾圓 飯島 和夫
第二艦隊齒科治療業務囑託
千四百七拾圓 吉川 知彦
第四艦隊齒科治療業務囑託
千四百七拾圓 松井 正
漢口海軍特務部ニ於ケル事務囑託
參千百貳拾圓 大谷 銀一郎
阪神海軍部ニ於ケル事務囑託
千九百貳拾圓 大野 功
自今報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給ス(内海軍省)

海軍公報

(部内限) 第三千七百六十二號

昭和十六年四月四日(金)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一六〇六號

昭和十四年官房第六四九五號中左ノ通改正ス

昭和十六年三月三十一日

海 軍 大 臣

「海軍工機學校」ヲ「海軍工作學校」ニ、「海軍工機學校長」ヲ「海軍工作學校長」ニ改ム

附 則

本令ハ昭和十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(參照) 昭和十四年官房第六四九五號ハ海軍工機學校ニ於テ教材ノ爲製作スル物品及之ニ要スル材料ノ取扱整理ニ關スル件ナリ

○ 通 牒

軍需機密燃第一五四號

昭和十六年四月二日

海 軍 省 軍 需 局 長

關係各廳長殿

航空礦油供給ニ關スル件通牒

當分ノ間昭和十六年達第四十四號ニ依リ艦營需品ニ品名追加ノ航空礦油ハ特ニ指定ナキ限り航一二〇礦油ヲ供給ノコトニ定メラレ候

追テ(一) 冬期及沍寒(大氣溫度攝氏零下五度以下)ノ候ニ於テハ加熱使用相成度

(二) 昭和十二年軍需機密燃第一一號航空礦油供給ノ件及昭和十三年軍需機密燃第二五二號

航空礦油使用區分ニ關スル件通牒ハ廢止致候

艦本第一號ノ一七四〇

昭和十六年四月二日

海 軍 艦 政 本 部 長

關係各廳長殿

二十五耗機銃打殼藥莢取扱ニ關スル件照會

首題打殼藥莢ハ四十耗以上各種藥莢ト同様小修理ノ上

繰返シ使用スル立前ニ候條取扱中濫ニ之ヲ變形毀損セシメザルト共ニ發放後成ルベク速ニ洗滌ノコトニ取計相成度

航本機密兵飛第三六一號

昭和十六年四月二日

海軍航空本部長

横、吳、佐、舞
大湊、鎮海、馬公 軍需部長殿

兵器附着拂整理ノ件通牒

在庫ノ九九式一番演習爆彈水平爆撃用射表ヲ在庫竝ニ供用及貸與中ノ演習爆彈射表一冊ニ一部宛附着拂整理スベシ

○ 辭 令

遞信局書記 深 澤 正

第三海軍軍用郵便所員ヲ免ス(海軍省)

海軍艦政本部附兼造 柴 田 傳 吉
船監督官海軍技師

同 久 米 孝 男

(各通)

海軍艦政本部附兼造 山 田 重 行
兵監督官海軍技師

同 中村 一郎

神戸監理官ヲ命ス(海軍省)

海軍大佐 柴田 善治郎

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス(海軍省)

軍令部部員海軍少佐 松林 元哉

第二部第四課勤務ヲ命ス

同 山田 正

第三部第五課兼同第八課勤務ヲ命ス(以上海軍省)

海軍少佐 松林 元哉

參謀部第二部第四課勤務ヲ命ス

同 山田 正

參謀部第三部第五課勤務ヲ命ス(以上海軍省)

海軍主計中佐 石井 秀次郎

蘭印ニ於テ要スル經費支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス(海軍省)

海軍省經理局長 吉松 義盛

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(海軍省)

海軍主計兵曹長 越川 近松

總務部第一課附ヲ命ス

海軍技手 大川 又藏
 在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上謂海軍航空本部)

○ 雜 款

○將旗一時移揚
 第六戰隊司令長官ハ三月三十日將旗ヲ一時青葉ニ移揚セリ

○司令驅逐艦復歸
 第二十七驅逐隊司令ハ三月十一日司令驅逐艦ヲ白露ニ復歸セリ

○司令潜水艦變更
 第十一潜水隊司令ハ三月二十五日司令潜水艦ヲ伊號第七十五潜水艦ニ變更セリ

○司令驅潛艇指定
 第二驅潛隊司令ハ四月一日司令驅潛艇ヲ第十三號驅潛艇ニ指定セリ

○事務所撤去
 海軍機雷學校(假稱)設立準備委員事務所ヲ三月三十一日撤去セリ

萩風艦裝員事務所ヲ三月三十一日撤去セリ
 第十四號驅潛艇艦裝員事務所ヲ三月三十一日撤去セリ
 第十五號驅潛艇艦裝員事務所ヲ三月三十一日撤去セリ
 第五富久丸、海形丸事務所ヲ三月三十一日撤去セリ

○特務艦早靱行動豫定

地名 着 發

佐世保 三月三十一日 三月二十九日

四日市 四月十七日 四月十五日

吳世保 二月二十一日 二月二十三日

佐世保 五月二十四日 五月二十二日

德山 五月三日 五月四日

吳ヶ崎 五月五日 五月六日

尼ヶ崎 五月七日 五月十日

馬ヶ公 五月十六日 五月十九日

タラカン 五月二十六日 五月二十七日

佐世保 六月七日

○特務艦野島行動豫定

地名 着 發

佐世保 四月十三日 四月十三日

西戸崎 四月十三日 四月十六日

海軍公報(部内限)第三千七百六十二號 昭和十六年四月四日

四三二

吳西舞佐
崎鶴
戸保

二十七日
二十日
二十四日
二十八日

二十九日
二十二日
二十六日

1078

○ 艦船所在

指印ハハカノ
定ヲ要セズ

○ 四月四日午前十時

【横須賀】

春日▲、赤城▲、劍埼▲、口香取▲、口瑞穂▲、
口蒼龍▲、口長門▲、陸奥▲、口比叡▲、口高雄▲、
愛宕▲、鳥海▲、摩耶▲、口那珂▲、駒橋▲、
口夕立▲、村雨▲、春雨▲、口響▲、曉▲、口朝雲▲、
山雲▲、夏雲▲
口伊一五▲、伊一七▲、伊七五▲
哨一▲

宗谷

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲、
(伊三七)▲

【長浦】

國後▲、口多摩▲
嵐▲、沖風▲、口汐風▲、帆風▲、口潮▲、
漣▲、曙▲、萩風▲
口伊四▲、伊五▲、伊六▲、伊九▲、口伊二〇▲、
口伊一八▲、伊二二▲
口驅潜一三▲、驅潜一四▲
哨二▲

【石川島】

五月雨

【横濱】

五十鈴▲
電▲、峯雲▲
(香椎)▲、(筑紫)▲

【浦賀】

雷▲、(濱風)▲

【八丈島】

澤風

【大湊】

口石垣▲
口神風▲、野風▲、波風▲、沼風▲
伊五二▲
哨三四▲、哨三五▲
大泊▲

【吳】

淺間▲、扶桑▲、八雲▲、大鯨▲、口龍驤▲、
鳳翔▲、千代田▲、口日向▲、伊勢▲、口青葉▲、
古鷹▲、衣笠▲、口熊野▲、鈴谷▲、最上▲、三隈▲、
妙高▲
口夕霧▲、天霧▲、朝霧▲、口白雲▲、東雲▲、叢雲▲、
口綾波▲、浦波▲、磯波▲、敷波▲、矢風▲
口呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊八▲、
口伊五三▲、伊五五▲、口伊五七▲、伊五八▲、
口伊七〇▲、伊六八▲、伊六九▲、口伊七四▲、
口伊一三三▲
哨四六▲

【大阪】

朝日▲、間宮▲、攝津▲、早鞆▲
口日進▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲
球磨▲
狹霧▲
樞野▲

【神戸】

鬼怒▲
(宇治)▲、(谷風)▲、(舞風)▲
伊一六▲、伊五四▲、伊五六▲、伊一二二▲
(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二二)▲、
(伊二五)▲、(伊三一)▲、(伊良湖)▲

【因ノ島】

口初雪▲、白雪▲、吹雪▲
相ノ生▲、加古▲

海軍公報(部内限)第三千七百六十二號

昭和十六年四月四日

四二三

1079

海軍公報 (部内限) 第三千七百六十三號

昭和十六年四月五日 (土)
海軍大臣官房

○令達

官房第一七六七號

所屬長官ハ潜水艦乗員中各科中少尉並ニ下士官及兵ニ對シ艦船部隊上陸外出規則第十條第一號又ハ第十二條第一號、第二號若ハ第三號ノ規定ニ拘ラズ左ノ各號ニ依リ上陸外出ヲ許可スルコトヲ得

各科中少尉 (各科大尉以上ヲ以テ定員トスル職ニ在ル者ヲ除ク)

其ノ三分ノ二以內

二 下士官及兵

(イ) 下士官 (ロニ規定スル下士官ヲ除ク) 兵ニシテ善行章二線以上ノ者ハ下士官ニ準ズ

其ノ人員ノ三分ノ二 (艦船部隊上陸外出規則第十三條ノ場合ニ於テハ同則第十二條第一號ノ者ト同様トス)

(ロ) 一、二等兵 (下士官ニシテ善行章ヲ授ケセザル者ハ一、二等兵ニ準ズ) 其ノ人員ノ三分ノ一

(ハ) 三等兵 (進級後經過一年未滿ノ者ヲ除ク) 其ノ人員ノ四分ノ一

其ノ人員ノ四分ノ一

鎮守府又ハ要港部所屬ノ防備隊ニ附屬セザル排水量五〇噸未滿ノ驅潜艇、特務艇及特設特務艇ノ乗員中各科中少尉並ニ下士官及兵ニ對シ前項ノ規定ニ準ジ上陸外出ヲ許可スルコトヲ得

昭和十六年四月五日

海軍大臣

○通牒

軍務一機密第二三七號

昭和十六年四月五日

海軍省軍務局長

内令提
要登載

各鎮守府
各要港部
各艦隊
參謀長殿

軍艦艦名標記廢止ノ件申進

艦船造修規則第二百二十八條ノ規定ニ依リ軍艦ノ艦尾ニ標記ノ艦名ハ機密保持上來四月二十日ヨリ當分ノ間之ヲ廢止シ夜間等同型艦識別ノ要アル場合ハ左記ニ依

(限) 海軍公報 (部内限) 第三千七百六十三號

海軍公報
則登載

海軍公報 (部内限) 第三千七百六十三號

昭和十六年四月五日

四二五

ルコトニ定メラレ候條可然取計相成度

追テ撤去艦名文字銀ハ所管鎮守府ノ海軍工廠ニ何分
ノ令アル迄保管ノコトニ取計相成度

記

鼠色木銀上ニ艦名ヲ白色ニテ標記シ(現在標記ノ艦名
文字ト同一字體、寸法及標記法ニ依ル)之ヲ舷梯取附
部ノ後方約一米ノ所ニ木板ノ上縁ヲ甲板面ニ一致スル
如ク舷側ニ掲グ

○ 辭令

○昭和十六年四月一日

海軍機關中佐 安藤 嘉一

敍從五位

海軍工作特務少尉 青木 豊太郎

敍正七位

海軍機關兵曹長 近藤 秀吉

敍從七位

海軍技術會議議員海軍中佐 久野 修三

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス(海軍省)

海軍主計中佐 小箱 直衛

海軍大學校教官兼橫須賀海軍工廠
廠兵器部部長海軍教授兼技術 山口 生知

海軍大學校教官兼海軍工廠
光學實驗部部長海軍教授兼技師 土居 善二郎

海軍大學校教官兼海軍燃料廠
研究部部長海軍教授兼技師 小田 茂雄

海軍大學校教官兼海軍航空技術
廠科學部部長海軍教授兼技師 田代 芳郎

○ 雜 款

○將旗移揚

海軍島根據地隊司令官ハ三月三十一日將旗ヲ三亞ヨリ
海口司令部ヘ移揚セリ

○將旗復歸

第六戰隊司令官ハ三月二十九日將旗ヲ加古ニ復歸セリ

○事務開始

鎮海海軍建築部ハ四月一日舊佐世保海軍建築部鎮海出張所ニ於テ事務ヲ開始セリ

○ 艦船所在

指印ハハホニ
定シヲ要セズ

○ 四月五日午前十時

【横須賀】

春日▲、赤城▲、劍崎▲、口香取▲、口瑞穂▲、
口蒼龍▲、口陸奥▲、長門▲、口比叡▲、口高雄▲、
愛宕▲、島海▲、摩耶▲、駒橋▲、口五十鈴▲、
口夕立▲、村雨▲、春雨▲、口響▲、曉▲、口朝雲▲、
山雲▲、夏雲▲

口伊一五▲、伊一六▲、伊一七▲、伊七五▲

哨一▲

宗谷

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲、
(伊三七)▲

【長浦】

國後▲、口多摩▲、
嵐▲、沖風▲、口沙風▲、帆風▲、口潮▲、臘▲、
漣▲、曙▲、萩風▲

口伊四▲、伊五▲、伊六▲、伊九▲、口伊二〇▲、

伊一八▲、伊二二▲

口驅潜一三▲、驅潜一四▲、驅潜一五▲

哨二▲

【石川島】

五月雨▲

【横濱】

口那珂▲、
雷▲、口峯雲▲、
(香椎)▲、(筑紫)▲

【浦賀】

雷▲、
(濱風)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

石垣▲、野風▲、波風▲、沼風▲

口神風▲、哨三四▲、哨三五▲

大泊▲

【吳】

淺間▲、扶桑▲、八雲▲、大鯨▲、口龍驤▲、
鳳翔▲、千代田▲、口日向▲、伊勢▲、口青葉▲、
古鷹▲、衣笠▲、口熊野▲、鈴谷▲、最上▲、三隈▲、
妙高▲、鬼怒▲

口夕霧▲、天霧▲、朝霧▲、口白雲▲、東雲▲、叢雲▲、
口綾波▲、浦波▲、磯波▲、敷波▲、矢風▲

口呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊八▲、
口伊五三▲、伊五五▲、口伊五七▲、伊五八▲、
口伊七〇▲、伊六八▲、伊六九▲、口伊七四▲、
口伊一二二▲

哨四六▲

朝日▲、間宮▲、攝津▲、早鞆▲

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

球磨▲

狹霧▲、舞風▲

(宇治)▲、(谷風)▲

口伊五四▲、伊五六▲、伊二二▲

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊三二)▲、
(伊二五)▲、(伊三一)▲、(伊良湖)▲

口初雪▲、白雪▲、吹雪▲

口加古▲

口驅潜五一▲、驅潜五三▲、驅潜五三▲

哨三三▲、哨三三▲、哨三三▲

吾妻▲、天井▲、口利根▲、筑摩▲

舞鶴▲

佐伯▲

因島▲

相生▲

舞鶴▲

吾妻▲、天井▲、口利根▲、筑摩▲

舞鶴▲

吾妻▲、天井▲、口利根▲、筑摩▲

海軍公報(部内限) 第三千七百六十三號

昭和十六年四月五日

四二七

薄雲、秋風、夕風、太刀風、羽風
哨三六、哨三七

【佐世保】

(野分) (夕雲)
金剛、榛名、北上、飛龍、千歲、
加賀、川内、阿武隈、霧島、神通、
嚴島、八重山、瑞鳳、八丈、
夕月、朝顔、芙蓉、峯風、吳竹、
早苗、菊月、卯月、若葉、初春、
初霜、子日、有明、白露、時雨、夕暮、
海風、山風、江風、涼風、三日月、
早潮、夏潮、親潮、黒潮、雪風、初風、
天津風、時津風、霞、霞、陽炎、
不知火、大潮、荒潮、滿潮、朝潮、
呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、
呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、
呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、
呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、
呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、
呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、
呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、
呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、
呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、
呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、
呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、
呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、
呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、
呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、
呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、
呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、
呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、
呂九八、呂九九、呂一〇〇

【作業地】

出雲、安宅、橋立、二見、伏見、比良、
熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、
足柄、長良、占守、嵯峨、名取、磐手、
初鷹、蒼鷹、白鷹、鹿島、天龍、龍田、
沖島、常磐、夕張、迅鯨、長鯨、
神威、能登呂、由良、那智、羽黒

【航海中】

山城、木曾、勝力
栗、榎、達、刈萱、春風、朝風、旗風、
松風、文月、皐月、水無月、長月、
追風、疾風、夕風、朝風、陸月、如月、
望月、彌生、磯風、浦風、若竹、
呂六二、呂六〇、呂六一、呂六三、
呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、
呂六七、呂七二、呂七一、呂七三、
呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、
呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、
呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、
呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、
呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、
呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、
呂九八、呂九九、呂一〇〇
石廊、明石、室戸、知床、鶴見、隠戸
驅潜一、驅潜二、驅潜三、驅潜四、
驅潜五、驅潜六、驅潜七、驅潜八、
驅潜九、驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二、
掃一〇、掃一一、掃一二、
掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、
掃一七、掃一八、掃一九、掃二〇、
掃二一、掃二二、掃二三、掃二四、
掃二五、掃二六、掃二七、掃二八、
掃二九、掃三〇、掃三一、掃三二、
掃三三、掃三四、掃三五、掃三六、
掃三七、掃三八、掃三九、掃四〇、
掃四一、掃四二、掃四三、掃四四、
掃四五、掃四六、掃四七、掃四八、
掃四九、掃五〇、掃五一、掃五二、
掃五三、掃五四、掃五五、掃五六、
掃五七、掃五八、掃五九、掃六〇、
掃六一、掃六二、掃六三、掃六四、
掃六五、掃六六、掃六七、掃六八、
掃六九、掃七〇、掃七一、掃七二、
掃七三、掃七四、掃七五、掃七六、
掃七七、掃七八、掃七九、掃八〇、
掃八一、掃八二、掃八三、掃八四、
掃八五、掃八六、掃八七、掃八八、
掃八九、掃九〇、掃九一、掃九二、
掃九三、掃九四、掃九五、掃九六、
掃九七、掃九八、掃九九、掃一〇〇

襟裳 (三月二十七日吳發一桑港)
櫻野 (三日神戶發一佐世保)
伊五二 (三日大湊發一舞鶴)
尻矢 (四日徳山發一佐世保)

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千七百六十四號

昭和十六年四月七日(月)

海軍大臣官房

○通牒

經監第六四號

昭和十六年四月四日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

前金拂又ハ概算拂契約者ニ關スル件通知

昭和十三年三月經物第一〇六號第一項第四號ニ依ル首
題ノ件左記ノ通承認致候

記

氏名	住所	合資會社立川機械製作所	合名會社日章電機機製作所	東京報知機株式會社	株式會社八千代電氣商會	芝江新太郎	川口國吉(川口組)	合資會社大塚組	合資會社栗田組	勝又春一(岳南組)	株式會社エル・レイホルド商館	合資會社川崎製作所	東洋鋼板工業所(吉村増藏)
東京市麴町區有樂町一〇	東京市江戶川區小岩町一ノ一三〇	立川市二二二六	東京市品川區東大崎三ノ二三九	東京市芝區田村町五ノ三ノ二	東京市芝區南佐久間町一ノ一	東京市荒川區日暮里町四ノ一四	沼津市下香貫上隣子四〇六	東京市麴町區飯田町二ノ一	東京市小石川區關口町六八	東京市麴町區永田町二ノ一	東京市日本橋區吳服橋三ノ七ノ三	東京市神田區錦町一ノ二三	大阪市東成區北中濱町二ノ二七

海軍公報(部内限) 第三千七百六十四號

昭和十六年四月七日

四二九

1085

合名會社澁澤鐵工所	布施市長堂一ノ六五	務ヲ開始セリ
朝鮮重工業株式會社	朝鮮慶尙南道釜山府瀨仙町一	○事務所撤去 八丈艦裝具事務所ヲ三月三十一日撤去セリ
澤竹美誠 (日本減速機製作所)	大阪市東成區北生野町五ノ四九	○練習生採用試験問題發送 第六期丙種飛行豫科練習生採用試験問題 右四月二日左記ノ通發送濟未着又ハ別ニ必要ノ向ハ至 急御通知相成度
株式會社大洋製作所	名古屋市南區笠寺町字下加福一	一、單獨試驗豫定ノ各部ハ直送 二、聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部長各要港部副官 宛送付
三菱化工機株式會社	東京市麴町區丸ノ内二ノ四(三菱本館内)	三、行動其ノ他ノ都合ニ依リ聯合試験ニ參加不可能ノ 向ニ對スル分及豫備トシテ各海軍人事部長、各艦隊 副官、各要港部副官各根據地隊副官宛若干部送付セ リ
川崎萬吉 (川崎合金製作所)	大阪市東淀川區堀上通一ノ四四	(第十一聯合航空隊)
株式會社石橋機械工 具製作所	東京市荏原區戶越町四六二	○轉入者ノ宿舍ニ關スル件 第三航空隊豫定者トシテ高雄海軍航空隊ニ轉勤者ハ同 隊宿舍モ不足シアリ且同方面ニハ借家充當家無之ニ付 家族同伴ハ差控エラレ度 (第三航空隊編制準備員)
岡部 虎 一	吳市西二河通二ノ一四	
東京電波株式會社	東京市大森區馬込町東一ノ一三 七九	
<p>○雜 款</p> <p>○旗艦變更 聯合艦隊司令長官兼第一艦隊司令長官ハ四月三日旗艦 ヲ陸奥ニ變更セリ</p> <p>○事務所設置 香椎艦裝具事務所ヲ四月二日横濱市中區綠町三丁目四 番地ノ二、三菱重工業株式會社横濱船渠内ニ設置シ事</p>		

○ 艦船所在

指定ヲ要セズ

○ 四月七日午前十時

【横須賀】

春日▲、赤城▲、劍埼▲、香取▲、瑞穂▲、蒼龍▲、陸奥▲、長門▲、比叡▲、高雄▲、愛宕▲、鳥海▲、摩耶▲、駒橋▲、五十鈴▲、夕立▲、村雨▲、春雨▲、響▲、朝雲▲、山雲▲、夏雲▲、雷▲、伊八▲、伊一五▲、伊一六▲、伊一七▲、伊七五▲、哨一▲

【長浦】

宗谷、知床、翔鶴▲、津輕▲、伊三三▲、伊三三▲、伊三七▲、國後▲、多摩▲、風▲、沖風▲、汐風▲、帆風▲、潮▲、隴▲、漣▲、曙▲、萩風▲、伊四▲、伊五▲、伊六▲、伊九▲、伊二〇▲、伊一八▲、伊二二▲、驅潜一三▲、驅潜一四▲、驅潜一五▲、哨二▲

【石川島】

五月雨▲、那珂▲、電▲、峯雲▲、香椎▲、筑紫▲

【浦賀】

濱風▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

石垣▲、哨三四▲、哨三五▲

【吳】

淺間▲、扶桑▲、八雲▲、大鯨▲、龍驤▲、鳳翔▲、千代田▲、日向▲、伊勢▲、青葉▲、古鷹▲、衣笠▲、熊野▲、鈴谷▲、最上▲、三隈▲、妙高▲、鬼怒▲、夕霧▲、天霧▲、朝霧▲、白雲▲、東雲▲、叢雲▲、綾波▲、浦波▲、磯波▲、矢風▲、呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊五三▲、伊五五▲、伊五七▲、伊五八▲、伊七〇▲、伊六八▲、伊六九▲、伊七四▲、哨四六▲

【大阪】

朝日、間宮、攝津、早鞆、球磨▲、日進▲、伊二七▲、伊三五▲、狹霧、舞風、敷波

【神戸】

宇治▲、谷風▲、伊五四▲、伊五六▲、伊二二▲、瑞鶴▲、伊一〇▲、伊一九▲、伊二二▲、伊二五▲、伊三一▲、伊良湖▲、初雪▲、白雪▲、吹雪▲

【因島】

加古▲、驅潜五一▲、驅潜五二▲、驅潜五三▲

【相模】

哨三一▲、哨三二▲、哨三三▲、吾妻▲、大井▲、利根▲、筑摩▲、薄雲▲、秋風▲、夕風▲、太刀風▲、羽風▲

【舞鶴】

伊五二

海軍公報(部内限)第三千七百六十四號

昭和十六年四月七日

四三一

(部 内 限)

海軍公報

(部内限) 第三千七百六十五號

昭和十六年四月八日(火)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第六四八號ノ三
臨時軍事費特別會計歳出科目中左ノ通追加ス
昭和十六年三月三十一日

海軍大臣

款	項	目	節	會計科目 電信略號
臨時 軍事費	臨時 軍事費	賞・與		ナ五リ

官房機密第二八〇一號
第四海軍氣象部ノ給與及其ノ他ノ經費ノ支拂ハ第三通
信隊主計長ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十六年四月一日

海軍大臣

官房機密第二八〇三號

本年官房機密第三八二號別表第二備考二中「馬公要
港部經理部勤務ノ主計科士官一名」ヲ削ル

昭和十六年四月一日

海軍大臣

(參照) 本年官房機密第三八二號ハ特設海軍經理部長ノ所掌ニ屬ス
ル收入及經費ノ取扱區分ノ件ナリ

官房機密第二八四八號

昭和十五年官房機密第八一七〇號中左ノ通改正ス

昭和十六年四月二日

海軍大臣

「第二海軍經理部長」ヲ「海南海軍經理部長」ニ改メ
「第二海軍經理部部長」ヲ「海南海軍經理部部長」ニ改メ

附 則

本令ハ昭和十六年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

(參照) 昭和十五年官房機密第八一七〇號ハ支那及南洋群島ニ於ケ



海軍公報(部内限) 第三千七百六十五號

昭和十六年四月八日

四三三

1089

ル艦裝所屬物品ノ通常物品出納命令官、同會計官吏並ニ之
カ取扱地域區分ノ件ナリ

官房機密第二八四九號

昭和十五年官房機密第八一七四號中左ノ通改正ス

昭和十六年四月二日

海軍大臣

第一號契約擔任官及契約擔任地域區分表中「第二海軍
經理部長」ヲ「海南海軍經理部長」ニ改ム

附則

本令ハ昭和十六年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

(參照) 昭和十五年官房機密第八一七四號ハ作戰地等ニ在ル艦船部
隊ニ要スル契約ニ關スル件ナリ

○通牒

官房第一七九八號

昭和十六年四月七日

海軍次官

各鎮守府司令長官
第一、第四艦隊司令官
各要港部司令官
法務長打合會議開催ノ件申進

法務長打合會議左記ニ依リ開催相成候條前日迄ニ海軍
省法務局ニ參集セシメラレ度

追テ所要旅費ハ請求ヲ俟テ配付セラレ候

記

一、開催期日 昭和十六年五月一、二兩日

一、參集者 各鎮守府法務長
各要港部法務長

第一、第四艦隊司令部附司法事務官

一、打合項目

一、海軍軍法會議法中改正法律、海軍軍人軍屬違警
罪即決處分例中改正法律、刑法中改正法律、治安
維持法中改正法律、國防保安法等ノ制定ニ伴フ事
項

二、徵用員ノ犯罪犯行ノ取扱ニ關スル事項

海人第一號ノ五六

昭和十六年四月二日

海軍省人事局長

各所轄長殿

特設病院船及特設海軍病院入院者ノ履歷
表記入例ノ件通牒

竊ニ海人第一號ノ二五ヲ以テ自己ノ不攝生又ハ故意ニ

因ル傷疾疾病ノ爲特設病院船及特設海軍病院ニ入院シタル者ノ人事取扱ニ關シ申進候處此ノ場合ノ履歴表ノ記入ハ概ネ左例ニ依ルコトニ一定致候
〔第一種症ニ依リ病院船何々(何々病院)ニ入院(停年控除該當症)〕

軍需部第一〇八號

昭和十六年四月七日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長
關係所轄長 殿

艦營需品ノ供給ニ關スル件通知

主計長主管艦營需品消耗品小印ハ艦營需品經理規程第二十條第二項ノ規定ニ不拘特ニ指定ノ艦船部隊、特設艦船部隊ニ對シテハ當分ノ間一般用消耗品ノ例ニ依リ軍需部ヨリ供給ノコトニ定タラレ候ニ付左記ニ依リ試行相成度

記

一、軍需部ヨリ供給實施ノ範圍

(イ) 事變關係ニ於テ特設セラレタル部隊(一部特設ノモノヲ含ム)及特設艦船部隊

但シ任務行動ノ關係上直買ヲ必要ト認ムルモノ

ハ防牒上萬全ノ措置ヲ講ジタル上所轄長ニ於テ實施シ品名、數量、金額ヲ所屬ノ兵備品會計官更ニ通報スルモノトス

資金前渡官吏ヲ置カレザル部隊

(ハ)(ロ) 常設艦船部隊ニ於テ機密保持上必要ト認メ所轄長ノ協議ニ依リ軍需部長承認ノモノ

二、實 施

(イ) 各軍需部(特設海軍軍需部ヲ除ク)ニ技術者ヲ雇入シ前號各部ニ所要小印ノ部内製作ヲ行フモノトス

關係軍需部長ハ別ニ定ムルトコロニ依リ急速準備ヲ完成シ實施スルモノトス

(ロ) 現品供給ニ關スル手續ハ一般用消耗品ノ例ニ依ルモノトシ豫算内支辨應ニ對スルモノハ直買豫算ノ範圍ニ於テ資金前渡官吏ヲ置カレザル部隊ニ對スルモノハ供給豫算ノ範圍ニ於テ夫々供給スルモノトス

豫算外支辨應ニ對スルモノハ所轄當事者ノ協力ニ俟ツテ濫造ニ涉ラザル如クシ軍需部長ハ要スレバ品種數量ニ制限ヲ加フルコトヲ得

(ハ) 其ノ他實施ノ細項ニ關シテハ軍需部長ノ定ムル

海軍公報(部内限)第三千七百六十五號

昭和十六年四月八日

四三五

1091

トコロニ依ル

經豫第三號ノ四五

昭和十六年四月七日

海軍省經理局長

各支出官殿

外國貨幣換算價格ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ左記ノ通大藏次官ヨリ通牒有之候條了
知相成度

記

藏理第三三六三號

昭和十六年三月二十六日

大藏次官 廣瀬 豐作

海軍次官 豊田貞次郎殿

支出官事務規程第二十條ニ依ル外國貨幣換算價格中法定純分比價ニ依リ難キモノ昭和十六年度分別紙ノ通定メラレ候ニ付此段依命及通牒候也

追而支出官事務規程第二十條ニ依リ外國貨幣ヲ基礎トスル金額支拂ノ爲振出ス小切手ト雖時價相場ニ依リ換算價格ヲ定ムルモノニ付テハ別紙換算率ハ關係ナキコト昭和九年五月十日附藏理第三四八號追書ト同趣旨ニ付爲念申添候也

(別紙添)

(参照) 海軍會計法規集上卷二五三頁

○ 辭 令

海軍大尉 梅 津 修

通信部第十課勤務ヲ命ス(三十五)大木營海軍部

○ 雜 款

○ 將旗移揚

第三根據地隊司令官ハ四月六日將旗ヲ福山丸ニ移揚セリ

○ 將旗復歸

大湊要港部司令官ハ四月三日將旗ヲ大泊ヨリ要港部司令部ニ復歸セリ

○ 司令驅逐艦一時變更

第二十九驅逐艦司令ハ三月二十二日司令驅逐艦ヲ二時追風ヨリ疾風ニ變更、同二十三日復歸セリ

○ 司令潜水艦變更

第十九潜水隊司令ハ三月二十一日伊號第五十六潜水艦ヨリ伊號第五十七潜水艦ニ變更セリ

(別紙)

(昭和十六年四月八日海軍公報(部内限))

換算率		國名	名稱	單位	換算價格
滿洲國	國幣	圓	一國幣圓	一圓	〇〇〇〇
中華民國(北支那)	中國聯合準備銀行券	圓	一圓	〇〇〇〇	〇〇〇〇
香港	香港幣	圓	一香港幣	一圓	〇九二七
伯刺西爾	紙幣	ミル	一ミル	〇二二〇	〇二二〇
亞爾然丁	紙幣	ペ	一ペ	〇九七七	〇九七七
墨西哥	紙幣	ペソ	一ペソ	〇七一二	〇七一二

備考 中華民國元(新舊法幣)ニ付テハ現在同地宛ノ支拂ハ總テ邦貨ヲ以テ送金シ居ルヲ以テ之ガ換算價格ヲ定メザルモノトス

○ 艦船所在

指定ヲ要セス

○ 四月八日午前十時

【横須賀】

春日▲、赤城▲、劍崎▲、口香取▲、口瑞穂▲、
 若龍▲、口陸奥▲、長門▲、口比叡▲、口高雄▲、
 愛宕▲、島海▲、摩耶▲、駒橋▲、口五十鈴▲、
 夕立▲、村雨▲、春雨▲、口響▲、曉▲、口朝雲▲、
 山雲▲、夏雲▲、雷▲、電▲

伊八▲、口伊一五▲、伊一六▲、伊一七▲、
 伊七五▲

哨一▲

宗谷、知床

【長浦】

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲、
 (伊三七)▲

國後▲、口多摩▲

嵐▲、沖風▲、口沙風▲、帆風▲、口潮▲、颯、
 漣、曙、萩風

伊四▲、伊五▲、伊六▲、伊九▲、口伊二〇▲、
 伊一八▲、伊二三▲

口驅潜一三▲、驅潜一四▲、驅潜一五▲

哨三▲

【石川島】

五月雨▲

【横濱】

那珂▲

峯雲▲

(香椎)▲、(筑紫)▲

(濱風)▲

澤風

【浦賀】

(濱風)▲

澤風

【大湊】

石垣▲

哨三四▲、哨三五▲

【函館】

神風▲、野風▲、波風▲、沼風▲

【吳】

淺間▲、扶桑▲、八雲▲、大鯨▲、口龍驤▲、
 鳳翔▲、千代田▲、口日向▲、伊勢▲、口青葉▲、
 古鷹▲、衣笠▲、口熊野▲、鈴谷▲、最上▲、三隈▲、
 妙高▲、鬼怒▲、口神通▲

口初雪▲、白雪▲、吹雪▲、口夕霧▲、天霧▲、
 朝霧▲、口綾波▲、浦波▲、磯波▲、矢風▲、口早潮▲、
 夏潮▲、親潮▲、黒潮▲、口雪風▲、初風▲、天津風▲、
 時津風▲、口葎▲、霞▲、陽炎▲、不知火▲

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、口伊五三▲、
 伊五五▲、口伊五七▲、伊五八▲、口伊六一▲、
 伊六二▲、口伊七〇▲、伊六八▲、伊六九▲、
 伊七四▲、口伊一二一▲

哨四六▲

朝日、間宮、攝津、早鞆、明石

(日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲

球磨▲、狹霧、舞風、敷波

【神戶】

(宇治)▲、(谷風)▲

伊五四▲、伊五六▲、伊二二一▲

(瑞鶴)▲、(伊一〇)▲、(伊一九)▲、(伊二一)▲、
 (伊二五)▲、(伊三一)▲、(伊良湖)▲

口白雲▲、東雲▲、叢雲▲

加古▲

驅潜五一、驅潜五二、驅潜五三

佐伯

相生

因島

伯

海軍公報(部内限) 第三千七百六十五號

昭和十六年四月八日

四三七

【舞鶴】

哨三一、哨三二、哨三三
吾妻、大井、利根、筑摩
薄雲、秋風、夕風、太刀風、羽風
伊五二
哨三六、哨三七
鳴戸

【佐世保】

(野分) (夕雲)
金剛、榛名、北上、飛龍、千歲、
加賀、川内、阿武隈、霧島、八重山、
瑞鳳
夕月、峯風、菊月、卯月、若葉、
初春、初霜、子日、有明、白露、時雨、
夕暮、海風、山風、江風、涼風、
三日月、大湖、荒潮、滿潮、朝潮
呂三〇、呂三一、呂三二、呂三四、
呂三三、伊五九、伊六〇、伊六四、
伊六五、伊六六、伊七三
掃一三、掃一四、掃一六
哨三八、哨三九
野島、敷島

【鎮海】

(伊二四) (伊二九) (伊三九)
朝顔、芙蓉
出雲、安宅、橋立、二見、伏見、比良、
熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、
足柄、長良、占守、嵯峨、名取、八丈、
磐手、初鷹、蒼鷹、白鷹、鹿島、天龍、
龍田、沖島、常磐、夕張、迅鯨、
長鯨、神威、能登呂、由良、那智、

羽黒、山城、木曾、勝力
栗、梅、逆、刈萱、春風、朝風、旗風、
松風、文月、皐月、水無月、長月、
追風、疾風、夕風、朝風、陸月、如月、
望月、彌生、磯風、浦風、若竹、
呂六二、呂六〇、呂六一、呂六三、
呂六四、呂六八、呂六五、呂六六、
呂六七、伊七、伊一、伊二、伊三、
伊七一、伊七二

伊七、伊八、掃一、掃二、
掃三、掃四、掃五、掃六、掃七、掃八、掃九、
掃一〇、掃一一、掃一二
驅潜一、驅潜二、驅潜三、驅潜四、
驅潜五、驅潜六、驅潜七、驅潜八、
驅潜九、驅潜一〇、驅潜一一、驅潜一二
石廊、室戸、鶴見、隠月、佐多

【航海中】

襟裳 (三月二十七日吳發—桑港)
驅潜十六 (六日鶴見發—佐世保)
嚴島 (六日佐世保發—橫須賀)
伊一二四、伊一二三 (六日佐世保發—橫須賀)
櫻野、掃一五 (七日佐世保發—吳)
尻矢 (七日佐世保發—徳山)
吳竹、早苗 (七日佐世保發—吳)